

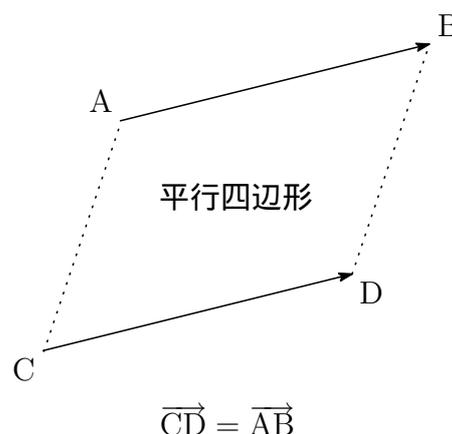
2003年度基礎数学講義ノート(2-1組)

2003年10月18日分

ベクトル(高校)の復習

点 A から点 B に向かう矢印(有効線分)を \overrightarrow{AB} (始点を A 終点を B とする **ベクトル**という)とかき, 2 点間 AB の距離を \overrightarrow{AB} の **ノルム**といい $\|\overrightarrow{AB}\|$ で表す. また, \overrightarrow{CD} が平行移動して向きまで含めて重なるとき, \overrightarrow{AB} と \overrightarrow{CD} は **等しい**という.

等しいベクトルの始点や終点の位置を考えないときは, a, b, c などのアルファベット小文字の太字で表すことにする. また, 始点と終点が一致しているときは矢印ではないが, 便宜上 **零ベクトル**といい 0 で表す.



ベクトルの演算

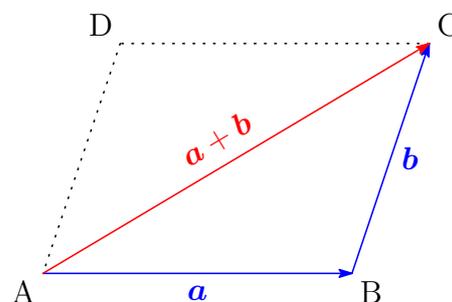
(1) a, b に対して

$$a = \overrightarrow{AB}, \quad b = \overrightarrow{BC}$$

となるように, 点 A, B, C をとるとき, \overrightarrow{AC} を a と b の **和**といい $a+b$ で表す.

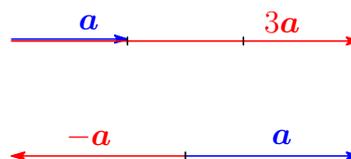
$$a + b = \overrightarrow{AC} (= \overrightarrow{AB} + \overrightarrow{BC})$$

ベクトルの和は「寄り道」. 図において, 点 D に「寄り道」すれば, $a+b = b+a$ であることも分かる.



(2) $a \neq 0$ と $k \in \mathbb{R}$ に対して,

$$ka = \begin{cases} a \text{ と同じ向きでノルムが } k\|a\| & (k > 0) \\ 0 & (k = 0) \\ a \text{ と逆向きでノルムが } -k\|a\| & (k < 0) \end{cases}$$



により **スカラー倍** ka を定める. また, $k0 = 0$ と定める.

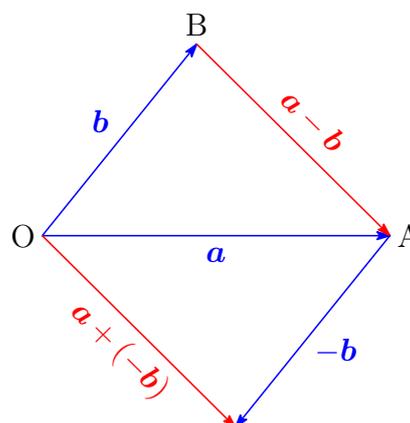
$a \neq 0$ に対して, $(-1)a$ を a の **逆ベクトル**といい $-a$ で表す.

a, b に対して, $a + (-b)$ を $a - b$ と表し, a と b の **差**という.

$$a = \overrightarrow{OA}, \quad b = \overrightarrow{OB}$$

のとき

$$a - b = \overrightarrow{BA} (= \overrightarrow{OA} - \overrightarrow{OB})$$



例
図において

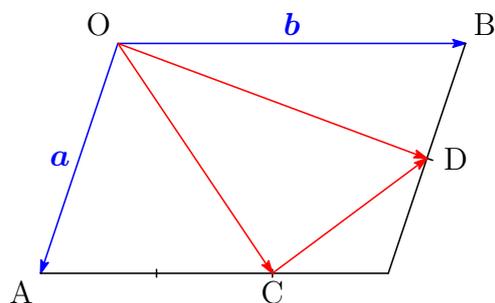
$$\vec{OC} = \vec{OA} + \vec{AC} = \mathbf{a} + \frac{2}{3}\mathbf{b}$$

また

$$\vec{OD} = \vec{OB} + \vec{BD} = \mathbf{b} + \frac{1}{2}\mathbf{a} = \frac{1}{2}\mathbf{a} + \mathbf{b}$$

更に

$$\begin{aligned}\vec{CD} &= \vec{OD} - \vec{OC} \\ &= \left(\frac{1}{2}\mathbf{a} + \mathbf{b}\right) - \left(\mathbf{a} + \frac{2}{3}\mathbf{b}\right) \\ &= -\frac{1}{2}\mathbf{a} + \frac{1}{3}\mathbf{b}\end{aligned}$$



平行条件 (共線条件)

a, b ($\neq 0$) に対して, $b = ka$ を満たす $k \neq 0$ が存在するとき, a と b は平行であるといい $a//b$ で表す.

$$a//b \iff b = ka \quad (k \neq 0)$$

